

メモリアルデー特別集会メッセージアウトライン

2015年5月22日ー25日

主題：新しい復興の必要

2015年メモリアルデー特別集会の標語

神が人と成ったのは、人が神格においてではなく
命と性質において神となるためであるということは、
全聖書の本質、すなわち聖書という「箱」の中の「ダイヤモンド」であり、
神の永遠のエコノミーです。

神聖な啓示の高嶺とは、神が人と成ったのは、
人が神格においてではなく、命、性質、表現において神となって、
キリストの有機的なからだを生み出し、建造し、
それが新エルサレムにおいて究極的に完成して、
神のエコノミーを完成するという事です。

わたしたちが神・人の生活を実行するなら、
すなわちキリストのからだの実際である生活を実行するなら、
自然に団体のモデルが、
すなわち神のエコノミーの中に生きるモデルが、建て上げられます。
このモデルは召会歴史における最大の復興となり、主の再来をもたらします。

わたしたちは神にしたがって牧養するために、
神と一になり、神で構成されて、神を生き、神を表現し、
神を代行し、神を供給する必要があります。

© 2015 Living Stream Ministry

神聖な啓示の最高峰に到達する (1)

時代のビジョン

聖書：ハバクク 3:2 前半、使徒 26:19、エペソ 1:17、3:9、啓 21:2

- I. 神の選民の間に、復興されたいという切望が常にありました——ハバクク 3:2 前半、ホセア 6:2、ハガイ 2:7、マラキ 3:1、4:2、ローマ 8:20-22。
- II. わたしたちは時代の務めを通して、神聖な啓示の最高峰、時代のビジョンに到達することによって、新しい復興へと入ることができます：
- A. 神が一つの時代に行なっている特別な回復と働きが、その時代の務めです——参照、創 6:16、列王下 2:1-15。
- B. あらゆる時代に、その時代のビジョンがあります。わたしたちはその時代のビジョンにしたがって神に仕えなければなりません——箴 29:18、使徒 26:19、エペソ 1:17、3:9。
- C. 神の言葉がわたしたちに啓示しているのは、神があらゆる時代にただ一つのビジョンを人に与えるということです：
1. わたしたちが今日、神に仕えるために、わたしたちのビジョンは、創世記におけるアダムの第一のビジョンから、啓示録におけるヨハネの最終のビジョンまで、ひたすら延びていなければなりません。
 2. 今日わたしたちが一つ思いであることができるのは、わたしたちがただ一つのビジョン、すなわち今日の、すべてを受け継いでいるビジョン、神の永遠のエコノミーのビジョンを持っているからです——ヨブ 10:12-13、参照、エペソ 3:9、I テモテ 1:3-4。
- III. II ペテロ第 1 章 12 節の「現にある真理」は、「今日の真理」とも訳すことができます：
- A. すべての真理は聖書の中にありますが、人の愚かさ、不忠信、怠慢、不従順を通して、多くの真理が失われ、人から隠されました——参照、列王下 22:8。
- B. 新しく現れた真理は、神の新しい発明ではありません。そうではなく、それらは人の新しい発見です。主のあらゆる働き人は、現にある真理が何であるかを、神に御前で尋ね求めるべきです。
- C. 神の真理は蓄積するものです。後の真理は過去の真理を否定しません。わたしたちが今日、見ているものは、神の啓示の蓄積です。
- D. どうか神がわたしたちに恵み深くあって、わたしたちが「現にある真理」の落伍者となることはありませんように。どうかわたしたちが目を覚まして、肉に入ってきてたり、自己に何の立場も得させたりすることがありませんように。
- IV. 神がわたしたちに与えた神聖な啓示の最高峰、現にある真理は、神の永遠のエコノミーの啓示です：
- A. 全聖書は、神の永遠のエコノミーの解釈であり、三一の神の自叙伝であって、永遠の二つの区分において、また時間の架け橋の上で見られます：
1. 旧約には、過去の永遠から、唯一で三一の神がおられます。彼はただ間接的に人

- と共に、人の間で行動していました——ヨハネ 1:1, 3。
2. 彼は永遠から時間の中へと入って来て、彼の神性を伴って人性の中へと入り、肉体と成った神となりました。それは人における神の直接の行動のためであり、四福音書において見られ、神の法理的な贖いを完成するためでした—— 14, 29 節。
 3. 彼は復活において複合の神、すなわちすべてを含む、命を与える霊と成りました。それは使徒行伝と書簡において見られ、神の有機的な救いを完成するためでした——ヨハネ 1:32, 42. I コリント 15:45 後半. ペリピ 1:19。
 4. 召会の墮落のゆえに、彼は強化された神、すなわち七倍に強化された、命を与える霊と成りました。それは啓示録第 1 章から第 20 章において見られ、勝利者を生み出すためです—— 1:4. 3:1. 4:5. 5:6。
 5. 未来の永遠において、彼は団体の神、新エルサレムとなります。それは啓示録第 21 章と第 22 章において見られ、手順を経て究極的に完成された三一の神と、再生され、造り変えられ、栄光化された信者たちとの、宇宙的な、神性と人性の大合併という、神の永遠のエコノミーの目標のためです——ヨハネ 1:51. 啓 21:3, 22。
 6. ですから、神の中心的な啓示と主の回復とは、神が肉体と成り、肉体が命を与える霊と成り、命を与える霊が七倍に強化された霊と成って、召会を建造し、それがキリストのからだとなり、新エルサレムを究極的に完成するということです。
- B. 神が人と成ったのは、人が神格においてではなく命と性質において神となるためであるということは、全聖書の本質、すなわち聖書という「箱」の中の「ダイヤモンド」であり、神の永遠のエコノミーです——創 1:26. ヨハネ 12:24. ローマ 8:29 :
1. 神は肉体と成ることを通して人と成り、人の人性にあずかりました。人は造り変えを通して神格においてではなく命と性質において神となり、神の神性にあずかります——ヨハネ 1:14. II コリント 3:18 :
 - a. 神の命にあずかる——ヨハネ 3:15. 10:10. コロサイ 3:4. ローマ 8:10, 6, 11。
 - b. 神の性質にあずかる——エペソ 1:4. II ペテロ 1:4。
 - c. 神の思いにあずかる——エペソ 4:23. ペリピ 2:5。
 - d. 神の「ある」にあずかる——II コリント 3:18 後半. エペソ 3:8。
 - e. 神のかたちにあずかる——II コリント 3:18 前半. ローマ 8:29。
 - f. 神の栄光にあずかる—— 30 節. ヘブル 2:10。
 - g. 神の子たる身分にあずかる——エペソ 1:5. ローマ 8:23. ヘブル 2:10-11。
 - h. 神の出現にあずかる——ローマ 8:19。
 - i. 神のようになる——I ヨハネ 3:2。
 - j. 神類、神の種族となる——ヨハネ 1:12. ローマ 8:14, 16。
 2. この神と人のロマンスは全聖書の主題、神のエコノミーの内容、全宇宙の秘密です——雅 1:1. 6:13 :
 - a. キリストは神でありまた人でもあり、彼を愛する造り変えられた者は人でありまた神でもあります。両者は命と性質において同じであり、互いに完全に符合しています。
 - b. 三一の神は、究極的に完成されて夫となり、三部分から成る人は、造り変えられて花嫁となり、両者は一組の夫婦、団体の大いなる神・人となります——啓

21:2, 9。

3. 神と人は一つの実体となり、その一つの実体は神性と人性のミングリングであり、新エルサレムにおいて究極的に完成します。これが全聖書の結論です。

V. 「わたしが望むのは、全地にあるすべての召会の聖徒たち、特に同労者と長老たちがこの啓示を見て立ち上がり、こう祈ることです。神がわたしたちに新しい復興、すなわち、歴史において決して記録されたことがない復興を与えてくださいますように」——歴代志上・下ライフスタディ、メッセージ2。

© 2015 *Living Stream Ministry*